

## 算数科調査資料 作成の観点

項 目	観 点	
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の 目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるために、どのような配慮がなされているか。</li> <li>○日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるために、どのような配慮がなされているか。</li> <li>○算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てるために、どのような配慮がなされているか。</li> </ul>	
特 色	内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る上で、どのような工夫が見られるか。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題を解決したり、判断したり、推論したりする過程において、見通しをもち筋道を立てて考えたり表現したりする力を育成するために課題や教材にどのような特色が見られるか。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が目的意識をもって主体的に学習に取り組むために、どのような工夫が見られるか。</li> <li>○学ぶことの楽しさや意義を実感できるようにするために、どのような配慮がなされているか。</li> </ul> <p>&lt;進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活や自然現象、他教科、道徳等との関連について、どのような配慮がなされているか。</li> <li>○発達や学年の段階に応じて、学習したことを発展させたり、様々な場面で活用させたりするために、どのような工夫がなされているか。</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○挿絵・写真・図表等などの扱いに、どのような特色が見られるか。</li> <li>○統計資料など学習効果を高めるために、どのような特色が見られるか。</li> </ul>
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見やすいレイアウトや読みやすい表現にするために、どのような工夫が見られるか。</li> <li>○記号、用語、単位などの表現には、どのような特色が見られるか。</li> </ul>
総 括	(全体的な特徴、その他)	

書名		新編 新しい算数		東京書籍
項目				
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導 要領の教科の目 標とのかかわり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識・技能を重点化して扱っている。確実に習得・定着できるように、児童が自分に適した補充問題に取り組んだり、自分自身で学び直しができたりするように配慮されている。</li> <li>○問題場面で既習の内容を基に見通しをもったり、式や図や言葉等を用いて解決方法を考えたり、他者の考えを読み取ったり伝え合ったりする等の活動を取り入れて、数学的な思考力・表現力を伸ばすように工夫している。</li> <li>○ねらいが明確に伝わるように構成された算数的活動を通して、数理的な処理のよさに気づき、自学自習の学習習慣を身に付けられるように工夫されている。また、算数を使う力を高め、活用型の問題にも対応できるような配慮をしている。</li> </ul>		
特 色	内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○計算の仕方を考える学習では、図と式を関連付けて複数の考えからまとめたり、図形の描き方、用具の使い方の学習では、写真や絵を用いて示したりする等、学習の仕方を丁寧に扱っている。学習のめあて、考えるときの手がかり、まとめが示され、学習の流れを理解しやすくなっている。題材の終わりには「力をつけるもんだい」「しあげ」があり、巻末には2段階の「ほじゅうのもんだい」が用意され、習熟度に応じて基礎的な技能が確実に習得できるように工夫されている。また、いくつかの題材ごとに「おぼえているかな」があり、復習ができるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決において、テープ図、数直線等の図を用いることができるように系統的に構成されている。図や式で表してある解決の仕方を説明したり、話し合ったりする活動が取り入れられ、「考える力をのぼそう」「おもしろ問題にチャレンジ」のページでは、図、式、表を使って考える問題が載せられている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が主体的に課題解決をし、よりよい解決方法にまとめられるように、「算数マイノートをつくろう」コーナーが設けられている。具体的な場面の問題や算数的活動を導入で扱い、興味・関心をもって取り組めるよう工夫がなされている。また、数学史やパズル、和算等興味をもって学習できる教材が取り上げられている。</li> </ul> <p>&lt;進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の途中や単元末に設けられている「算数のおはなし」や「算数新発見」というコーナーでは、学習した内容を日常生活の中で活用する問題や、学習した内容に関する知識をさらに広げる内容が位置付けられている。</li> <li>○各題材の導入では、日常生活の中から算数の学習内容を見付けられるような問題が出題されている。また、「算数をつかってやってみよう」というページが設けられており、学習した内容を日常的な事象の中で活用することができるようになっている。</li> <li>○他教科との関連を図った題材配列となっている。</li> </ul>		
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料は身近な内容に加え、社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。</li> <li>○全学年に算数的活動や資料のためのページが設けられており、切り取り用教具にはミシン目が入っている。</li> <li>○図や表は色付けされ、書き込めるようになっている。</li> <li>○多様な表現から友達の考えを読み取って伝え合う活動場面や、ノートの取り方について例示されている。</li> </ul>		
	表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。</li> <li>○定義、公式、重要事項、計算の仕方等は囲みや色付けで強調されている。</li> <li>○各時間の問題は番号が付けられ、囲みで強調されている。</li> <li>○数学的な考え方やヒントは吹き出しや囲み等で、学習の仕方は記号で表示されている。</li> </ul>		
	総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が目的意識をもって主体的に取り組めるよう、分からない学習内容について児童自身で学び直しができる構成になっている。</li> <li>○問題解決的な学習を通して、児童が自分の言葉で説明する活動を促す等、数学的な思考力・表現力を高められるよう配慮されている。</li> </ul>		

項目	書名 <div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">新版たのしい算数</div> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">大日本図書</div>
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けられるように、関連する既習の内容が明示されていたり、算数科の用語や重要事項を確認したりできるような構成になっている。また、適用問題・まとめの問題・補充問題で定着するように配慮されている。</li> <li>○数学的な思考力・表現力を育成するために、問題解決的な学習の展開が図れるように構成されている。また、多様な考え方を例示し、それを基にした話し合い活動を積極的に取り入れている。問題の解決方法の根拠が吹き出しで強調しており、自分の言葉で表現できるように工夫されている。</li> <li>○各領域の内容を、算数的活動を通して学習できるように配慮されている。また、他教科や日常生活場面と関連した教材を積極的に取り上げる等、算数で学習したことを実生活と関連付けられるようにしている。</li> </ul>
特 内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○図を使って新しい計算の仕方を考えられるようになっていたり、計算の手順が示されていたりしている。考えるときのヒントとなるように、既習の内容が吹き出し等で示されている。図形の描き方や用具の使い方が、絵や写真を用いて丁寧に示されている。題材の終わりの「まとめの練習」には、関連する内容を学習したページが示されていて、自ら学習を振り返ることができるようになっていたり。また、いくつかの題材ごとにある「復習」や巻末の「レッツトライ」で定着が図られるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭の「算数の学び方」のコーナーでは、ノートのとまとめ方の例を載せている。式の意味を書かせる活動を取り入れ、問題と図、式、言葉とを結び付けて考える流れを示している。「もっと算数たまたまばこ」のコーナーでは、身の回りにあることを問題場面とし、解決方法を考えたり、考え方を説明したりする活動を取り入れている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に「算数の学び方」を載せ、児童が主体的に学習に取り組めるように、学習の進め方やノートの例が示されている。日常的問題場面を導入で扱い、計算の仕方や求め方等考えを書き込めるようになっていたり。「算数たまたまばこ」のページでは、興味・関心を高める問題が提示されている。</li> </ul> <p>&lt;進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の途中に設けられている「学習をひろげよう」では、学習内容をさらに発展させるための問いかけがなされている。</li> <li>○題材の途中や最後に設けられている「もっと算数たまたまばこ」では、学習した内容を具体的な生活場面で確かめたり、発展的な学習に活用したりできるようになっている。</li> <li>○他教科との関連を図った題材配列となっている。</li> </ul>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料は身近な内容に加え、社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。</li> <li>○全学年に算数的活動や資料のための折り込みページが設けられており、切り取り用教具にはミシン目が入っている。</li> <li>○図や表は色付けされ、書き込めるようになっていたり。</li> <li>○巻頭に、問題解決的な学習の取り組み方や、ノートの取り方の例が示されている。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。</li> <li>○定義、公式、重要事項、計算の仕方等は囲みや色付けで強調されている。</li> <li>○各時間の問題は番号が付けられ、囲みで強調されている。</li> <li>○数学的な考え方やヒントは吹き出しや囲み等で、学習の仕方は記号で表示されている。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決的な学習が展開されるよう解決の仕方が複数提示されたり、児童がつまづきそうな箇所に適宜吹き出しを設けたりして、主体的に学習を進められる構成になっている。</li> <li>○児童が生活とのかかわりを意識することができるよう、各題材の導入ページでは多くの写真が用いられている。</li> </ul>

書名 項目	みんなと学ぶ 小学校 算数 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学校図書</span>
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、学習したことを基にして児童が主体的に学習できるように、内容の系統性が重視されており、既習の内容を振り返ったり、学習を見直したりできるような構成となるよう工夫されている。</li> <li>○筋道を立てて考えることができるように、類推・帰納・演繹等の考え方を具体的な例で示す等の工夫をしている。さらに、読解力や表現力を育成するための問題を取り入れたり、話し合いや発表する活動を写真等で示したりしている。</li> <li>○日常の生活場面から課題を提示し、作業的・体験的な活動等の算数的活動を通して、児童が自主的・自発的な学習ができるような工夫がされている。</li> </ul>
特 色 内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○計算の仕方を考える学習では、半具体物や図を使って考えられるように書かれている。既習の内容を生かす場面には、「ふり返り」が示されており、考える手助けとなるように工夫されている。図形の描き方等は、絵や写真で丁寧に示されている。題材ごとに「練習」と「力だめし」があり、学習の定着が図れるようになっており、「力だめし」には、問題が解けたかのチェック欄があり、学習したページに戻れる工夫もされている。巻末にある「サポート」では、より基本的な問題が示され基礎・基本が身に付くよう配慮されている。「補充問題」で習熟を図ることができる。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○計算の仕方を、半具体物、図、式等を用いて説明する活動が取り入れられている。巻頭の「算数でよく使う考え方」のコーナーでは、問題を解決するときを使う類推・帰納・演繹等の考え方を示し、「ことば」のコラムでは、説明のための文型等を解説している。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「ノート名人になろう」コーナーを設け、児童が主体的に課題を解決したり、発達の段階に応じて、よりよい解決方法にまとめられたりするようにしている。算数的活動を取り入れたい問題には「活動マーク」をつけ、測る、比べる、わかる等の活動をしながら、興味・関心をもって取り組めるように工夫されている。</li> </ul> <p>&lt;進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に「算数たんけんたい」というページを設けており、各学年の算数の学習内容に関する写真を示してある。</li> <li>○学習の準備として、生活経験を想起させる「見たことあるかな」というコーナーが設けられており、日常生活と学習内容との関連付けを意識させるようになっていく。</li> <li>○巻末には「チャレンジ～算数を使おう」というページが設けられており、学習内容を日常の生活場面に活用したり、発展的な学習に取り組んだりできるようになっている。</li> </ul>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料は身近な内容に加え、社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。</li> <li>○全学年に算数的活動や資料のための折り込みページが設けられており、切り取り用教具にはミシン目が入っている。</li> <li>○図や表は色付けされ、書き込めるようになっていく。</li> <li>○巻頭に、学習の進め方や、「算数でよく使う考え方」がまとめられている。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。</li> <li>○定義、公式、重要事項、計算の仕方等は囲みや色付けで強調されている。</li> <li>○各時間の問題は番号が付けられ、囲みで強調されている。</li> <li>○数学的な考え方やヒントは吹き出しや囲み等で、学習の仕方は記号で表示されている。</li> </ul>
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が興味・関心をもって主体的に学習が進められるように算数的活動を適宜明示した構成となっている。</li> <li>○巻頭に数学的な考え方を例示する等、系統的に学習を進めるための単元構成に工夫が見られ、中学校との円滑な接続が図られるよう「中学校へのかけ橋」(別冊)が設けられている。</li> </ul>

書名		小学算数		教育出版
項目				
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導 要領の教科の目 標とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学びのつながりを意識し、学習に関わる大切な考え方や内容を振り返ったり、作図や数直線等の描き方を丁寧に扱ったりしている。また、家庭学習用の問題を設ける等、基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るための工夫がされている。</li> <li>○巻頭に具体的な問題を使って問題解決的な学習の学び方を示し、各題材の終わりに学習内容を活用する問題を設ける等、数学的な見方や考え方を育成し、活用する力を高める配慮がされている。</li> <li>○問題解決の場面で児童の気付きを促したり、多様な解決方法を関連付けたりする配慮がなされ、言語活動を充実させるための工夫がされている。</li> </ul>			
特 内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○題材のはじめに新しく学習する内容を示すページを設け、日常生活場面からの問題を既習の内容と関連させて考えられるように工夫されている。学習したことを確かめる問題には、何を求める問題なのかを示す工夫がされている。図形の描き方等が絵や写真で丁寧に示され、つまずきの多い作図については繰り返し掲載されている。題材ごとに「まとめ」、「ちからをのぼそう」の問題があり、巻末の「ステップアップ算数」では、「きほんの問題」と「レベルアップ問題」が設定されていて、学習内容を定着させたり、深めたりできるようになっている。また、高学年の「学びのマップ」は、学年を超えて既習の内容を振り返れるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭には、問題解決の仕方が学べるような題材が取り入れられている。解決の見通しを立てて、数直線等の図や式を使って考えたり、説明したりする学習を載せている。「学びの手引き」には、算数で使いたい考え方や解決の仕方、ノートの手書き方、数直線の描き方等が示されており、問題を解決するときの参考になっている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「友だちのノートを見てみよう」では、効果的なノートづくりができるようにしたり、友達のノートを見てよいところを見つけたりできるようにしている。ページ下部には、算数メモやミニクイズ、よくあるまちがい等のミニコーナーがあり、児童が気を付けたり、関心をもったりしながら学習に取り組めるようになっている。また、高学年では「学びのマップ」が掲載され、主体的に学習できるよう配慮している。</li> </ul> <p>&lt;進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○題材の中で、学習した内容を日常生活場面で活用する問題や、既習に関する知識をさらに広げる内容が設けられている。また、「学んだことを使おう」という問題が位置付けられており、学習したことを身の回りに生かす問題に取り組めるようになっている。</li> <li>○随所に設けてある「算数ワールド」は、児童の知的好奇心に応える内容であり、算数の楽しさを感じたり、学習意欲を高めたりすることができるようになっている。</li> </ul>			
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料は身近な内容に加え、社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。</li> <li>○全学年に算数的活動や資料のための折り込みページが設けられており、切り取り用教具にはミシン目が入っている。</li> <li>○図や表は色付けされ、書き込めるようになっている。</li> <li>○巻末に、技能定着をねらいとして、用具の使い方や作図の仕方等がまとめられている。</li> </ul>			
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。</li> <li>○定義、公式、重要事項、計算の仕方等は囲みや色付けで強調されている。</li> <li>○各時間の問題は番号が付けられ、囲みで強調されている。</li> <li>○数学的な考え方やヒントは吹き出しや囲み等で、学習の仕方は記号で表示されている。</li> </ul>			
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作業的・体験的な活動や考えたり説明したりする活動等、算数的活動を重視し、児童が主体的な問題解決を通して知識や技能を習得できるように構成されている。</li> <li>○学習した内容が実際にどんな場面で活用されているのかを示したコーナーを設け、学習内容の広がりや児童に実感できるように配慮されている。</li> </ul>			

書名		わくわく 算数 <span style="float: right;">新興出版社啓林館</span>	
項目			
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための系統性が重視され、中学校数学や他教科・領域との関連を意識した内容になっている。また、補充問題を通して、確実に身に付けさせたい学習内容の定着を図っている。</li> <li>○問題解決的な学習の進め方が示され、文章、図、グラフ等から児童が自ら情報を選択して問題を解決できるような工夫がなされており、読解力・表現力の育成を図っている。</li> <li>○題材導入時の見開きや巻末の切り取り教具を活用した作業的・体験的な活動を取り入れる等、算数への関心・意欲の向上を図っている。また、題材の終わりには学習を振り返らせる等、算数のよさに気付かせる工夫がされている。</li> </ul>	
特 色	内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい学習が始まる前に「準備」の問題が設定されており、既習の内容を確認したり、新しい学習のめあてをつかんだりできるようになっている。また、新しく学習する計算の仕方を図や言葉で示したり、筆算の手順を丁寧に示したり、図形の描き方等が絵や写真を用いて示されたりしている。題材の終わりに、「練習」と「たしかめましょう」の問題があり、学習内容の定着が図られるようになっている。「復習」や「もっと練習」のページで、繰り返し練習できるように工夫されており、「まとめ」で既習の内容が確認できるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「考えを広げよう、深めよう」では、言葉、式、図を使って説明する学習を取り入れて、論理的な思考力の育成を図っている。「算数資料集」のコーナーでは、「考え方がよくわかるわくわく算数ノート」「わかりやすく説明しよう」「算数でよく使う考え方」を載せてあり、学んだことを活用できるように工夫している。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭で学習の進め方を示し、学習に取り組みやすくしている。題材や一時間のめあてが示され、学習の見通しをしやすくしている。巻末には、学習後に児童が自ら取り組める内容やノートのつくり方等の資料が掲載されている。「算数の自由研究」や「算数実験室」、「わくわく算数学習」では、興味・関心をもって主体的に取り組めるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○日常生活との関連や発展的な学習内容については、「学びをいかそう」というコーナーで取り上げられている。このコーナーでは、具体的な場面を通して問題解決の方法を考えさせたり、実験的に確かめさせたりする学習活動や、算数のおもしろさに気付かせたり、関心をもたせたりすることをねらった学習活動が取り上げられている。また、「もっと学びをいかそう」というコーナーを設け、学習内容をさらに上げられるようにしている。</li> <li>○算数に関連した自由研究のテーマや自由研究の仕方について示されている。また、「算数資料集」の中に位置付けられている「さがしてみよう」のコーナーでは、身の回りにある算数について紹介されている。</li> </ul>	
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料は身近な内容に加え、社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。</li> <li>○全学年に算数的活動や資料のための折り込みページが設けられており、切り取り用教具にはミシン目が入っている。</li> <li>○図や表は色付けされ、書き込めるようになっている。</li> <li>○巻頭に、教科書の使い方及び問題解決的な学習の取り組み方が示されている。</li> </ul>	
	表 記・表 現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。</li> <li>○定義、公式、重要事項、計算の仕方等は囲みや色付けで強調されている。</li> <li>○単元全体の課題が示され、各時間の問題は番号が付けられ、囲みで強調されている。</li> <li>○数学的な考え方やヒントは吹き出しや囲み等で、学習の仕方は記号で示されている。</li> </ul>	
	総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が主体的に取り組めるよう、問題解決的な学習を中心に構成されており、ノートのつくり方、話合いの仕方等、身に付けたことを活用するための資料も配置され、児童自身によって探究的な活動ができる構成になっている。</li> <li>○文章題の単元を設けて数学的な考え方を取り上げる等、論理的思考力が高められるよう配慮されている。</li> </ul>	

書名		項目
<h1>小学算数</h1>		
教育基本法、学校教育法の下 の小学校学習指導要領の教科の目 標とのかかわり		<ul style="list-style-type: none"> <li>○題材に関係する既習の内容を確認したり、学習後に習熟度に応じた練習問題を設けたりする等、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける工夫がされている。</li> <li>○児童の主体的な学びを重視し、問題解決的な学習過程の各段階のポイントや発達の段階に応じた表現や考え方が示されており、筋道立てて考えたり、説明したりする力の育成が図られている。</li> <li>○学習を日常の生活場面や素材と関連付けたり、作業的・体験的な活動を取り入れることなどで、算数のよさに気付かせるとともに算数への関心や意欲を向上させる工夫がされている。</li> </ul>
特色	特 内 容	<p>&lt;基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい題材に入る前に「次の学習のために」のページがあり、既習の内容を復習してから学習するようになっている。教科書の幅を広く取り、「もう一度考えよう」や「学び方ガイド」を参考にできるような表示がされていて、学習の手がかりが示されている。また、用具の使い方、図形の描き方を絵や写真で丁寧に示している。題材の終わりの「たしかめポイント」の練習問題は、段階を追って取り組めるようになっている。「復習」では、2～3の題材ごとに内容を振り返り、学習したことの定着が図られるようになっており、巻末の「じっくりチェック」で、定着を確認できるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成する工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○巻頭に「さあ、算数の学習を始めよう」を設けて、見通しをもって解決し、考えを発表する学習の進め方やノート書き方、教科書の使い方、既習の内容が示されている。巻末の「考える力をのばそう」では、学習したことを確かめたり、広げたり、深めたりする内容が扱われている。</li> </ul> <p>&lt;主体的に学習に取り組む態度を養う工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「算数ノートをつくろう」や「学び方ガイド」では、児童が主体的に学習に取り組みやすくしている。また、めあて・まとめが記され、学習の見通しや振り返りをしやすくしている。「算数マイトライ」では、学習後に児童が自ら取り組める内容が掲載されている。「なるほど算数」のコーナーでは、児童が興味・関心をもって学習に取り組めるようになっている。</li> </ul> <p>&lt;進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる工夫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○各題材の終わりに、「ぐっとチャレンジ」という問題を設定し、児童の実態に応じて、発展的な問題に取り組めるようになっている。</li> <li>○題材の最後にある「いち・に・算活」のコーナーでは、題材で学習した内容に関する発展的な課題や日常の生活場面への活用例が示されている。</li> <li>○巻末に設けられている「算数をいかそう」のコーナーでは、学習したことを、発展的な場面に活用する素材が取り上げられている。</li> </ul>
	資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料は身近な内容に加え、社会や自然の事象を絵と写真で取り上げている。</li> <li>○算数的活動や資料のための折り込みページが設けられており、切り取り用教具にはミシン目が入っている。</li> <li>○図や表は色付けされ、書き込めるようになっている。</li> <li>○巻末に、問題解決的な学習の進め方や、発表の仕方をまとめた「学び方ガイド」があり、切り取って常時使用することができるようになっている。</li> <li>○横長のA B判の側注を利用して、学習の進め方が示されている。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。</li> <li>○定義、公式、重要事項、計算の仕方等は囲みや色付けで強調されている。</li> <li>○各時間の問題は番号が付けられ、囲みで強調されている。</li> <li>○数学的な考え方やヒントは吹き出しや囲み等で、学習の仕方は記号で表示されている。</li> </ul>	
総 括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的な学びを重視し、問題解決的な学習を中心に構成されており、作業的・体験的な活動や学習したことを実際の場面で生かせるような具体例が示されている。</li> <li>○系統性を重視し、既習の学習や次の学習を示すページが配置されていたり、話合いの観点が見られ、解決・発表・話合い等の活動を行う際の配慮がされていたりする。</li> </ul>	

算数科調査資料2

○分量について

		東書	大日本	学図	教出	啓林館	日文
1 総ページ数 ※ 表紙見返しから裏表紙見返しまで全て、 奥付を除く。	1年	165	152	153	169	173	165
	2年	238	222	240	244	280	284
	3年	276	230	274	260	292	308
	4年	294	253	276	290	290	316
	5年	290	247	291	275	279	312
	6年	261	239	266	241	293	263
2 巻末資料、付録等のページ 数	1年	1	2	16	4	10	4
	2年	26	24	34	33	56	76
	3年	42	23	40	29	64	80
	4年	48	34	36	47	56	70
	5年	47	28	30	39	56	76
	6年	34	38	67	18	50	58

○領域別題材等について

		東書	大日本	学図	教出	啓林館	日文	
1 総題材数	1年	18	18	18	18	22	20	
	2年	17	18	17	17	17	17	
	3年	19	17	18	17	19	19	
	4年	15	15	18	17	16	18	
	5年	16	19	16	18	16	17	
	6年	14	14	14	13	14	15	
2 領域別 題材数	①数と計算	1年	10	10	11	11	15	12
		2年	9	10	9	9	10	9
		3年	12	10	11	10	13	12
		4年	9	8	11	10	9	11
		5年	7	7	7	7	7	7
		6年	2	2	3	2	2	3
	②量と測定	1年	5	4	3	3	4	4
		2年	4	4	4	4	4	4
		3年	3	3	3	3	2	3
		4年	2	2	2	2	2	2
		5年	3	4	3	4	4	4
		6年	5	5	4	4	5	6



2 領域別 題材数	③図形	1年	2	2	2	2	2	2
		2年	2	2	2	2	2	2
		3年	2	2	2	2	2	2
		4年	2	2	2	2	2	2
		5年	4	4	4	4	3	3
		6年	2	2	2	2	2	2
	④数量関係	1年	1	2	2	2	1	2
		2年	2	2	2	2	1	2
		3年	2	2	2	2	2	2
		4年	2	3	3	3	3	3
		5年	2	4	2	3	2	3
		6年	5	5	5	5	5	5

○その他

		東書	大日本	学 図	教 出	啓林館	日 文
発展させたり、様々な場面で活用させたりするための課題の数 ※ 問題場のまとまりをもって一つとカウントする。	1年	14	12	12	24	22	16
	2年	7	24	16	11	32	10
	3年	16	26	13	11	23	25
	4年	18	26	9	14	15	10
	5年	17	30	9	15	19	24
	6年	18	31	13	25	53	27